

令和5年度《学校経営計画》

名張市立梅が丘小学校

学校長 森永 美紀子

1 学校教育目標

なかまと力を合わせて幸せを創り出せる子どもの育成

2 めざす学校像、児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像

○学校像	○学ぶよろこび、つながるよろこびにあふれる魅力ある学校 ○保護者、地域とともに子どもを育む学校
○児童・生徒像	○意欲的に学び 確かな学力を身に付ける子 ○豊かな感性を持ち 自分もなかまも大切にできる子 ○心身ともにたくましく 生き生きと活動する子
○教職員像	○学校教育目標の具現化に向けチームで取り組む教職員 ○人権尊重の精神を基底に据え児童一人一人を大切にする教職員 ○自らの資質を磨き、力量を高める教職員
○保護者・地域像	○学校と連携して子どもを育てる保護者 ○学校と連携して子どもを見守り育てる地域

3 学校の現状

昨年度までの取組「『わかった』『できた』を実感できる授業の創造」については、習熟度別少人数授業やユニバーサルデザインの視点での授業改善の取組の成果もあり「学校は、学力向上に努めている」【保護者アンケート】の結果は94%の評価を得ています。さらなる確かな学力の定着のためには、「わかった」「できた」を実感できる授業への改善と共に家庭学習の習慣化、読書活動の推進への取組が必要です。

「誰もが安心して生活できる居場所づくり、学校づくり」については、「なかまを大切にする子ども」

【保護者アンケート】94.5%、「安心して学習できる」【児童アンケート】91%と高評価となっています。長期欠席や学校に来にくい児童を担任だけでなく、関係機関も関わっていただく中で保護者が安心して子育てをしていける環境づくりの第1歩を踏み出すことができました。本年度も引き続きの取組が必要です。

コミュニティ・スクールとなり、本年度4年目となります。昨年度は、総合防災訓練に向けて、地域・保護者と連携した取組を展開することができました。年度末の学校運営協議会評価書では、今後も学校課題や地域課題について熟議する中で共通認識が図られることを望みますと助言いただいています。教職員の考えや具体的なニーズ、児童の意見を取り上げるなどの場の設定も必要です。

本年度の改善方策

○「わかった」「できた」を実感できる授業の創造
主体的・対話的で深い学びに向けて、授業改善に取り組み、児童の学力向上を図ります。「焦点化」「視覚化」「共有化」、ユニバーサルデザインの視点を土台に授業づくりに取り組み、友だちの思いを受け止め、自分の考えを表現できる児童の育成を目指します。

○豊かな人間関係と居場所づくり

自分も仲間も大切にできる心情を養うとともに、誰もが安心して生活できる居場所づくり、学校づくりを目指します。児童一人一人の状況を理解し、教育相談やSC、その他の関係機関との連携により不登校・長期欠席児童を生まない学校づくりに努めます。

○地域とともにある学校づくり

学校運営協議会を通して、学校の現状とめざす子どもの姿を共有し、その達成に向け保護者・地域と協働した取組を推進します。

4 重点的な取組事項						
番号	内 容	実施期間				
		3	4	5	6	7
1	主体的・対話的で深い学びに向けて、「わかった」「できた」を実感できる授業の創造に取り組み、児童の学力向上を図る。	○	○	○		
2	自分も仲間も大切にできる心情を養うとともに、誰もが安心して生活できる居場所づくり、学校づくりを目指す。	○	○	○		
3	学校運営協議会を通して、学校の現状とめざす子どもの姿を共有し、その達成に向け保護者・地域と協働した取組を推進する。	○	○	○		

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1	主体的・対話的で深い学びに向けて、「わかった」「できた」を実感できる授業の創造に取り組み、児童の学力向上を図る。
A 今年度の成果目標	
保護者アンケート	「教師は授業を工夫し、学力向上に努めている」・・・90%以上
児童アンケート	「思いや考えを伝えることができる」・・・90%以上
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
1	授業のユニバーサルデザイン化を土台とした校内研修の充実
2	基礎学力の定着・学習意欲の向上をめざした授業、めあて・振り返りのある授業の実施
3	言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力（創造力）を豊かにするための読書活動の充実

重点的な取組事項－2	自分も仲間も大切にできる心情を養うとともに、誰もが安心して生活できる居場所づくり、学校づくりを目指す。
A 今年度の成果目標	
保護者アンケート	「学校はなかまを大切にしている子どもを育てている」・・・90%以上
児童アンケート	「安心して学習することができる」・・・90%以上
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
1	時間・約束を守る、あいさつができる、思いやりの心を育むための「ちあお」の取組の推進
2	人権感覚あふれる子ども・教職員を育むための人権・同和教育の推進
3	ポジティブな行動支援・スモールステップで達成感を味わえる取組の推進

重点的な取組事項－3	学校運営協議会を通して、学校の現状とめざす子どもの姿を共有し、その達成に向け保護者・地域と協働した取組を推進する。
A 今年度の成果目標	
保護者アンケート	「通信やHPで教育方針や学校の様子がわかる」・・・90%以上
児童アンケート	「学校は、保護者・地域との連携を大切にしている」・・・90%以上
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
1	学校運営協議会の活性化
2	保護者・地域と連携・協働した学校教育活動の推進
3	学年だより・学校だよりの発行やホームページによる情報提供